



VOL.47

一年の総括  
シリーズ1

一年を振り返って

桂川幼稚園園長 長野陽一

桂川幼稚園の園児の一日は、登園バスから降りて来ると、運動場の入口にある「けん、ぱ」をすることから始まります。そのあとは、朝の運動です。年少は好きな遊び。年中はマラソン、竹ぼっくりなど。年長はマラソン縄跳び、登り棒などをします。

本年度の活動の大きな柱の一つである「運動遊びの充実」では、十分に体を動かす機会を設けました。塘田先生の「リズムで遊ぼう」では、楽しくリズムに乗って体を動かしました。2学期からの白石先生の「運動遊び」では、クモ歩き（仰向けになり腰を浮かせて手と足で歩く）や新聞紙ボールパンチなど体をしっかり動かしました。

もう一つの柱である「花や野菜の栽培活動」では、幼稚園の下にある畑で、春野菜、夏野菜など一年を通していろいろな野菜を育てました。

6月のカレーライス、11月の豚

汁では、材料の野菜はすべて幼稚園の畑で収穫したものでまかなうことができました。お母さんたちの手作り料理はともおいしかったです。

ほかにも焼き芋と落花生を使つてのバターピーナッツなど、皆で収穫の喜びを味わいました。

花の栽培では、今年度も一年を通して、幼稚園は花で囲まれました。今は、花壇やプランターに春に咲くパンジーやキンセンカ、チューリップなどがしっかりと根付いています。植木鉢には、一人一人の鉢にピオラとチューリップを植え付けています。春にきれいな花が咲くのを楽しみにしています。

終わりに、今年の11月に町指定の研究委囀園として、研究発表会を予定しています。「生き生きたくましい園児を育てる運動的な遊び」の充実を目指して取組を図って行きます。

向上へ、あとひと頑張り

桂川中学校校長 安永保之

本年度の全国学力実態調査（中3）では、筑豊地区平均を3〜4ポイント超えていました。学力は向上しています。これは、長期休業中や課外の学習、宿題の取組を進めてきた本校先生方の努力や生徒の頑張りです。校長としてうれしいかぎりです。

また、小・中学校PTA連合会では学校と協力して「学習のすずめ」という家庭学習手引を作成して配布します。宿題などさせられる学習から自分で進んで学習する習慣づくりを目的に、食卓など親の目が届く場所での学習から一人学習の習慣づくりができれば、もっと生徒は向上するのではないのでしょうか。

文部科学省の平成22年度調査では、中学生の塾費用などの年間費用は、3年生では26万4千円、2年生では16万4千円、1年生では12万1千円が平均と発表。経済格差が学力格差となって表れ、現実に学力の2極化（成績上位と下位）つまり成績の中間層が減少しています。

親の立場で考えますと、両親共



▲ 昨年11月の教育力向上福岡県民フォーラムで桂中の取組を発表する生徒会長の三輪舜太さん。

に働く家庭が多くあり、父親は残業などで遅くなり、母親は家事等でゆつくり我が子の勉強を見たり、話すゆとりがないと言われるのが現実ではないでしょうか。

公立中学校として「人格の形成のための基礎教育」が本流ですが、この実態は見逃ごせません。キーワードは、学習環境を整え、家庭との連携をもっと深めることです。学力と経済格差との相関関係はあっても学校・PTAが目標を持つて組織的活動をすれば、小さな問題点の改善を一つ一つ進めることで志をもった子どもたちを育てることができるようにはないでしょうか。町民の皆様、今後ともご支援をお願いいたします。